

**授業概要**

今日、世界的な環境意識の高まりにともない、多くの製品やサービスが環境配慮を意識したものに変わってきています。企業経営では、事業活動と地球環境の相関を的確に理解し、ビジネスに役に立てていく「環境経営」の人材が求められています。そのため、本授業では、持続可能な社会の実現に向けて、地球環境問題の構造と企業の社会的責任、環境経営の視点と実践に関する基本知識、特に脱炭素時代における日本企業のリスクと機会を可視化する方法を体系的に学べるように講義します。

**授業計画**

|        |                              |
|--------|------------------------------|
| 第 1 回  | 持続可能な社会の実現と企業の責任と役割          |
| 第 2 回  | 気候変動リスクの増大と脱炭素時代の幕開け         |
| 第 3 回  | 脱炭素時代における企業のリスクと機会をいかに可視化するか |
| 第 4 回  | 電力会社の脱炭素対策とその実態分析            |
| 第 5 回  | 石油製品会社の脱炭素対策とその実態分析          |
| 第 6 回  | 鉄鋼会社の脱炭素対策とその実態分析            |
| 第 7 回  | 化学会社の脱炭素対策とその実態分析            |
| 第 8 回  | 中間まとめ                        |
| 第 9 回  | 機械製造会社の脱炭素対策とその実態分析          |
| 第 10 回 | 運送会社の脱炭素対策とその実態分析            |
| 第 11 回 | 通信会社の脱炭素対策とその実態分析            |
| 第 12 回 | 脱炭素エクセレントカンパニーの選別と財務パフォーマンス  |
| 第 13 回 | 脱炭素テーマ型投資信託の比較と課題            |
| 第 14 回 | 脱炭素時代における企業のリスク・機会分析と情報開示の課題 |
| 第 15 回 | まとめ                          |
| 第 16 回 | 定期試験                         |

**到達目標**

- (1) 持続可能な社会の実現と企業の責任と役割に関する基本知識を理解すること
- (2) ケーススタディを通じて、環境経営の視点と実態分析に関する基本知識を理解すること
- (3) 脱炭素対策と財務管理・金融市場に関する基本知識と動向を理解すること

**履修上の注意**

- (1) 授業は、おおむねシラバスに沿って進めますが、受講者の理解度などによって、授業内容が前後・変更することがあります。
- (2) 授業中の私語や無断出入り、遅刻、飲食、携帯電話の使用などの迷惑行為は厳禁です。

**予習・復習**

- (1) 予習：授業計画に沿って、インターネットや新聞など活用して適宜に予習しましょう。
- (2) 復習：授業が終わったあと、授業資料を活用して理解を深めましょう。

**評価方法**

定期試験 40%      小課題（授業中に提出）40%      授業態度など 20%

**テキスト**

テキストは特に使用しません。